

自己評価(学校評価)学校関係者コメントを検討しました

1 感染拡大下の環境を生かして

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、授業のみならず、様々な教育運営に大きな影響を与えました。しかし、オンラインによる講座や会議の実施の積み重ねによりネットワーク環境の整備が急速に進展し、専門知識を持つ講師の配置も実現しました。また、中止となった卒業研修会については、別途講義を遠隔収録し、卒業生への配信を行うとともにホームページに特設コーナーを設けました。今後は、障害の特性にも配慮した遠隔授業の導入など、よりよい教育支援環境を目指して参ります。

2 新しい国家試験の出題傾向に応じた教官の指導力

教官の指導力の向上を目指し、所内教官研修会の充実を図っています。その一つとして、短時間で話しをまとめるスピーチの会を設けました。スピーチの構成の基本である序論、本論、結論やロジカルなトークとして結論から伝えるなど、授業とは違った条件での伝え方について磨きをかけようというものです。研修を更に展開する試みとして、3分間で伝える動画講義(オンデマンド)など、利用者の能動的な学習を促す教材コンテンツ制作の試みが予定されています。

3 外部の力を借りた教育支援のかたち

当センターは、特別な個別支援を要する利用者に対応するための特別指導教官は配置されていません。そこで、専門性の高い外部講師による教室を開設しました。昨年度は、心の相談から臨床に必要なコミュニケーション力の獲得まで目指したコミュニケーション教室、今年度は、それに加えて語彙や長文読解力の向上とともに国家試験問題を読み解くためのスタディスキル教室を定期的実施しています。引き続き、専門性の高い外部講師の協力を得て、よりよい教育支援のかたちづくりを模索して参ります。

4 視力センターの認知度の向上を目指して

令和3年度の計画として、近隣大学との交流を礎に地域連携活動を推し進めることになりました。視覚障害のある方を対象とした教育手法など、視力センターが培ってきた資源を活用し、教育・研究活動、地域貢献、そして、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの普及・振興につながるよう努めます。